

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てくてく教室					公表日			
							令和 7 年 1 月 2 0 日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2つの場所に分けたり、パーティションで落ちつける環境を作り工夫している。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		未満児の利用人数が増えてきていることもあり、職員の配置数も増やす必要がある。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			身体的に配慮必要な子どもの利用がある場合は、バリアフリー化への見直し修繕をしています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティション等を使用し、こどもが安心・集中できる環境作りを工夫している。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保育終了後に、改善すべき点を話し合い、職員間で共通理解を図ることができている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		運営評価委員による外部評価を実施し、助言を頂いたことを職員間で検討・改善につなげていくように努めている。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修会等、積極的に参加し資質向上に励んでいる。研修報告会を実施し、他職員へ周知している。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		相談支援専門員と連携を取りながら、支援計画を作成している。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画について随時、相談・改善を行い、共通理解を図ることができている。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で定期的なモニタリングを行い、情報共有をしている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○							
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○							

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行 っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		保育終了後に、職員間で保育の振り返りを行 うことで、気づかない点も他職員の目線で知 ることができる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 につなげているか。	○		個人記録等、他職員にも目を通してもらい共 通理解を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機 関や保 護者との 連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	○			関係機関との連携は図れているが、主治医や協力医 療機関等の支援体制はなかなか難しいのが現状なの で、今後の課題として検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進 の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こ ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の 情報共有と相互理解を図っているか。	○		通所している子のほとんどが、幼稚園・保育 園に並行通園しているので、訪問見学や連絡 会等で情報共有や相互理解を図ることができ ている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校の特別支援コーディネーターと連携を 図り、連絡会で情報共有し、特別支援学級等 の見学・説明会を実施した。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連 携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受 けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		地域の児童発達支援センターとの連携を図る 機会は少ないが、研修会に積極的に参加し、 情報交換ができるようにしている。	研修会だけの連携ではなく、随時、連携が取 れるように努めています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ どもと活動する機会があるか。	○		年長児クラスは、幼稚園との交流を実施す ることができた。	年少児クラスは、なかなか実現できていな いので、実施できるように計画を立てていき ます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況 や課題について共通理解を持っているか。	○		親子通園時や連絡帳等で、こどもの様子を伝 え合い連携をとることができている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。		○	研修会で頂いた資料等、保護者へ共有でき るものは配布して情報提供している。	ペアレント・トレーニング等、保護者が参加できる 研修の機会は実践できていないので、今後の課題と して取り組めるようにしていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護 者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		親子通園が難しい保護者には、動画を見せ たり連絡帳等を通して伝えたりして、子育て の悩み等に対する助言を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			母親の参加が多いので、父親への参加も呼びかけていきたい。きょうだいへの支援というところでは、今後の課題として検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		一人で判断せずに、職員間で情報共有して対応することができている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		保護者以外の地域住民を招待する等の事業運営を図れてないので、今後の課題として検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			非常災害の発生に備え、避難訓練は実施しているが、業務継続計画は策定していないので、今後の課題として取り組めるようにしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			保護者と連携を図り情報共有することができているが、医師の指示書は頂いていないので、今後どうするのか考慮していきます。（食事提供なし）
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止をするための研修会参加後に、職員間で資料を基に情報共有し、共通理解を図ることができた。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			該当なし	